

令和6年度 諫早市立小長井中学校 自己評価書

校訓	「自律」「創造」「誠実」
学校教育目標	たくましい身体と思いやりの心を持ち、共に磨き合い、意欲に満ちた生徒を育成する
本年度の重点努力目標	1 学力の向上 2 思いやりの心の育成 3 健康・安全・体力の増進 4 生徒指導の充実 5 特別活動の充実 6 保護者・地域との連携と開かれた学校づくり

【評価基準】 4：達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

評価項目 (評価指標)	具体的方策・手立て	評価	その根拠	考察・分析及び改善策
1 学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学びの習慣化を図る。(学習規律の徹底、支持的風土の醸成、家庭学習の充実等) 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、魅力ある授業を推進する。 校内研修を確実に実施する。 	3	<p>学びの習慣化において、学習規律の徹底のために「二準一黙」「目で話を聞く」の徹底を図り、落ち着いた環境づくりができてつつある。しかし、「支持的風土の醸成」や「家庭学習の充実」には課題が残る。校内研修では「表現力を高める」ための取組を検討・実践してきたが、成果としては十分に現れてはいない。</p> <p>学校評価アンケートでは、生徒の肯定的な意見が6項目全て80%を超えており、1学期よりも向上している。一方、保護者は「授業態度」と「家庭学習」の項目が低く、危機感を感じていることがわかる。</p>	<p>次年度においても、「二準一黙」と「目で話を聞く」の徹底を目標に取り組みたい。また、助け合い、認め合うことのできる温かい環境づくりに力を入れ、「支持的風土の醸成」を更に推進したい。そのためには、学び合う場の設定、授業展開の工夫、ICT機器の活用等を積極的に進めたい。また、「授業態度」や「家庭学習」に対して校内研修を通して共通理解・共通実践を図っていきたい。</p>
2 思いやりの心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 心の教育、命の教育を充実する。(道徳科の充実、全ての教育活動を通じた道徳教育の実践) 生徒会活動、学級活動等を活用した生徒の自治活動を推進させる。 	3	<p>幼いころからの生命尊重の考えを基に、道徳や、その他の学校生活の中で、心の教育と命の教育を充実させることができています。2学期は人権集会もあり、学校評価アンケートにおいても生徒は肯定的な意見が全ての3項目、保護者は2項目90%を超えている。生徒会活動への積極的な参画意識においては、学校評価アンケートから肯定的な意見が生徒は76%、保護者は73%と低く、まだ課題ではあるが、1学期より向上している。</p>	<p>生徒は命が大切であることは十分に理解しているが、発言等には、まだ課題が見られる。道徳のみならず、各教科や全ての教育活動の中に、認め合いや助け合いの場面を意図的に設定していきたい。また、生徒が活躍する場を設定することにより、誰かのために役に立つ経験をさせ思いやりの心の育成を図りたい。</p> <p>学校や学級に何が必要なのかを自分で考え、活動する姿勢の育成までは至っていない。積極的な生徒会活動を基に、各専門委員会及び学級での係活動の活性化を図ることで、全ての生徒に生徒会の一員であることを自覚させ、自治活動の充実を更に進めていきたい。</p>
4 生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> いじめ、問題行動の早期発見と指導及び相談活動を充実する。 一人一人の特性理解と特性に応じた適切な指導を充実する。 	3	<p>今年度は3件のいじめを認知した。本件に関して、学校全体で迅速かつ丁寧に対応することができた。現在は解消しているものの、観察は続けている。また、定例生徒指導部会や臨時生徒指導部会等で、積極的ないじめの認知はもちろん、その具体的方策を協議し、全職員で共有することで、いじめの早期対応を図った。相談活動については、気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけ、少しずつではあるが、相談件数は増加し、子どもたちに寄り添った対応につながってきている。学校評価アンケートでは生徒の肯定的な意見が82%から87%に増加し、いじめのない好ましい友人関係を築くことができるようになった。</p>	<p>他者との関わりの中で、少しずつ人権意識が向上し、人を傷つけない好ましい友人関係を築けるようになった。まだ、相手意識を持たない言動が見られるため、次年度も人権意識の向上のための講話等の実施、及び「認め合う関係性」を育てていくための「支持的風土の醸成」に取り組む必要がある。また、来年度校内適応指導教室を本格的に運用していく中で、個に応じた適切な指導の充実を図っていきたい。定期的な教育相談やチャンス相談等を柔軟に実施し、年間を通じた「相談しやすい雰囲気づくり」に取り組んでいきたい。</p>
6 保護者、地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 信頼される職員集団の構築する。 PTA活動を活性化させる。 地域・保護者との情報共有を実施する。 	3	<p>「教師は授業で勝負する」、教育の専門家として確かな力量が「教育のプロ」のプロたる所以であることを全職員で共有し、それを基盤とした生徒、保護者、地域との良い信頼関係を構築してきた。課題であった相談体制の周知については、相談員やスクールカウンセラーが授業に参加することで、相談しやすい環境が定着してきた。家庭との連携においては、密な電話連絡の徹底を図った。PTA活動においては、今年度、新しい取組も増え、年々徐々に活発化している。通信等は町内を回覧させていただき、生徒の活躍や本校の取組を紹介し、教育活動への理解を深めていただいた。学校支援会議では、学校の課題を共有したり、アドバイスをいただくことができた。</p>	<p>わかる授業のための「授業改善」を基盤とした信頼関係の構築においては、「支持的風土の醸成」を重点化し「安心・安全な学校」を更に進めていく必要がある。相談体制の周知については、来室者が4月の7名から1月の27名に増加していることから、年間を通じたアナウンス等の効果があつたものとする。来年度は早いうちに周知を行い、授業等への参観などを計画していく必要がある。PTA活動では、各部で年度初めの計画をしっかりと立てることが課題である。地域の方々の協働活動は生徒の課題解決能力を高めるような取組が課題となっている。生徒自らがふるさとを考え、行動できる生徒の育成を目指したい。</p>

令和6年度学校評価アンケート集計結果

評価項目	対象	質問内容	肯定的回答率 (%)				
			計	2学期	1学期		
学力の向上	1 わかる授業	生徒	先生は、わかる授業をしてくれる。	85	89	81	
		保護者	先生は、分かる授業をしてくれる。	94	92	96	
	2 めあてと振り返り	生徒	授業では、「めあて（課題）」が示され、学習の振り返り（確認・確かめ）が実践されている。	92	94	90	
		保護者	授業では、「めあて（課題）」が示され、学習の振り返り（確認・確かめ）が実践されている。	93	91	95	
	3 考えを深める	生徒	授業では、お互いの意見や考えを深める活動（班学習やペア学習）が実践されている。	78	84	73	
		保護者	授業では、意見や考えを深めるための活動（班活動・ペア学習等）が行われている。	93	96	91	
	4 学習態度	生徒	落ち着いて、自ら進んで授業を受けている。	80	84	77	
		保護者	落ち着いて、自ら進んで授業を受けている。	63	61	65	
	5 宿題と家庭学習	生徒	授業で出された課題（宿題）を家庭学習として、取り組めた。	76	80	73	
		保護者	各教科の先生から計画的に課題（宿題）が示され、家庭学習の習慣化が図られている。	65	62	67	
	6 ICTの活用	生徒	授業では、ICT機器が活用されている。	80	83	77	
		保護者	授業では、ICT機器が活用されている。	80	88	73	
思いやりの心の育成	7 命について	生徒	命あるものを大切にできた。	97	97	96	
		保護者	お子様は、命あるものを大切にしている。	94	96	91	
	8 認め合い・助け合い	生徒	誰に対しても、お互いの考えを認め、助け合えた。	94	96	93	
		保護者	お子様は、友人を大切にしている。	95	96	95	
	9 誰かのために	生徒	誰かのために、役立つことを一つでも努めた。	93	91	94	
		保護者	お子様は、誰かのために役に立つことを実践している。	75	78	72	
健康・安全・体力の推進	10 部活動	生徒	部活動を積極的に頑張った。（部活動未所属は答えない）	88	89	87	
		保護者	学校は、部活動を積極的に進めている。（部活動未所属は答えない）	79	77	81	
	11 健康な生活	生徒	日頃から健康な生活を送れるように食事や衛生面、虫歯予防に気を配っている。	91	91	90	
		保護者	お子様は、日頃から健康な生活を送れるように食事や衛生面、虫歯予防に気を配っている。	81	84	77	
	12 環境安全整備	生徒	学校は、安全で、環境が整っている。	91	91	90	
		保護者	学校は、安全で、環境が整っている。	82	82	82	
生徒指導の充実	13 正しく指導	生徒	先生は、間違っただけには正しく指導してくれる。	87	88	86	
		保護者	学校は、子どもの間違っただけには正しく指導してくれる。	79	82	75	
		生徒	先生は、良いことや努力した時には褒めてくれる。	85	81	89	
		保護者	学校は、子どもを褒めるべき時は褒めてくれる。	90	94	86	
	14 正しい生活	生徒	挨拶や身なり、言葉遣いなどをきちんとしている。	88	94	82	
		保護者	お子様は、挨拶や身なり、言葉遣いなどをきちんとしている。	80	82	77	
	15 好ましい人間関係	生徒	学校や学級で、好ましい人間関係をつくっている。	89	93	85	
		保護者	お子様は、学校や学級で、好ましい人間関係をつくっている。	86	86	86	
	16 いじめのない学校	生徒	いじめのない学校・学級を目指し、努力できた。	90	94	85	
		保護者	学校は、いじめのない学校・学級づくりを目指して取り組んでいる。	79	80	78	
	17 教育相談	生徒	悩みや相談ごとがあるとき、先生や心の相談員、スクールカウンセラー等に話しやすい。	65	68	63	
		保護者	学校は、子供の悩みや相談に応じてくれる。（先生や心の相談員、スクールカウンセラー等）	89	92	85	
	特別活動の充実	18 キャリア教育	生徒	自分の個性を理解し、将来の進路についてしっかり考えた。	86	89	84
			保護者	ご家庭で、進路のことや将来の職業等について話し合う（会話する）機会があった。	86	86	86
19 進んで活動		生徒	学級の係活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる。	90	94	85	
		保護者	お子様は、学級の係活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる。	87	82	91	
	生徒	学校スローガン「3つの開花」を意識し、学校生活を送っている。	73	76	71		
	保護者	お子様は、学校スローガン「3つの開花」を意識し、学校生活を送っている。	68	73	63		
地域との連携	20 地域との連携	生徒	総合的な学習の時間などの授業や学校行事等で、地域の方からの話を聞いたり、指導していただいたりする機会がある。	79	80	78	
		保護者	学校は、地域の方や外部の方を授業や行事等の講師として活用している。	89	90	88	
	21 教育方針への理解 家庭地域への連絡	生徒	学校から出された文書や学校だより、学級通信等を確実に保護者に渡している。	84	87	81	
保護者	学校は、学校だよりや学級通信、安心メール、ホームページ、各種会合等を活用し、学校の様子や必要な情報を知らせている。	94	94	93			